

小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画）策定のためのアンケート調査票（案）に関する修正意見と修正方法について

※ 第1回策定委員会及びその後にごいただいたご意見等についてまとめたものです。

※ 調査票の問番号は、修正後の新しい番号で表示しています。

提案者	区分	問番号	修正意見	修正方法（内容）
矢野委員	修正	問4	問4で選択肢「1～3」までを選択した方を対象に、小金井市に転入する前に住んでいた自治体はどこかの設問を追加する。 選択肢は「東京都（ ）区、市、町、村」 「（ ）府、県（ ）区、市、町、村」	転入する前に住んでいた自治体は重要であるが、自治体ごとのサンプル数が少なくなるのが予想され、クロス集計に適さなくなるので、今回はこのままとしたい。
	修正	問5	選択肢9の専門的職業に（教師、塾講師、大学教師）も入れる。	「教師、塾講師」を追加したい。
	修正 意見	問6－(2)	選択肢に「高校生」「学生（専門学校、短大、大学、大学院）」も入れる。 設問の意図はなにか	子どもや高齢者、障害のある人など、要援護者がいる家庭で回答の傾向が異なることも考えられるために盛り込んだが、要援護者の状況も多様化しているため、今回の調査票からは削除したい。
	意見		1～4までで、学齢期・青年期が外れている理由はなにか	
	意見		フリーターや失業中、引きこもり状態にある人、学校を中退もしくはすでに10代で就労している人などを考えると、年代区分で選択肢にする方法もあるのではないか	
意見	問7（新設）	住環境についての設問を入れる。選択肢は「持ち家」「借家」「社宅等」「公営住宅」 持ち家か借家か住宅事情で今後の小金井市の定住意向に差が見られるのではないか。また、マンションの場合は管理組合やマンション自治会など、独自のコミュニティを持っているケースがあることが考えられ、地域コミュニティを考える参考になるのではないか	住環境の違いによって近所づきあいの程度や生活課題などに差が見られるなどが考えられるため、住環境についての設問を追加したい。	
平野委員	修正	問8→問9	選択肢を「暮らしやすいと思う」「暮らしやすいとは思わない」「わからない」の三者択一にする ※三者択一のほうが回答しやすい	回答のし難さは五者択一というよりも文言が不統一であるからではないか。ご本人が暮らしやすいかどうかの設問ではないため、三者択一にすると戸惑う回答者もいると考えられる。文言を修正することで回答をしやすくしたい。
矢野委員	意見	問9→削除	選択肢項目が、「福祉充実のためには増税やむなし」か「現状維持で増税はNO」になってしまうのではないか。「その他」でいろいろな意見がでてくるのか	福祉の充実と税負担については、さまざまな意見があると考えられるが、選択肢の回答としては2または3が多くなることが想定される。今回は削除することとしたい。
	意見	—	「障害」と「障がい」の表記が混在している	「障害」に統一したい。（国の指針が出ればそれに従う。）
平野委員	修正	問10	選択肢の「自治会」を「自治会・町内会」にする	「自治会・町内会」に修正したい。
	修正	問11～13	「地域」「近隣」「近所」をそれぞれ「町内」に変更する 問10との関連だと、広義と狭義の捉え方次第で随分回答が異なることが予想されるため、狭義の「町内」に絞っての設問とする	問11・12は「町内」とし、問13は馴染みのある「近所づきあい」という表現のままとしたい。
矢野委員	修正	問12	選択肢に「子どもを中心としたつながり（保育園、学校、学童等のPTA活動）での活動」と「趣味やサークル活動に参加している」も入れる	問12は付き合いの程度に関する設問なので、内容を入れると程度が把握しにくいので、このままとしたい。ただし、内容としては問22－(2)の設問で補完したい。
井爪委員	修正	問12	町内会に参加していなくても、付き合いが深いこともあるのではないか	「町内会の」を削除したい。
平野委員	修正	問13	選択肢に「3」を入れる	選択肢「4」「5」を「3」「4」に訂正します。

提案者	区分	問番号	修正意見	修正方法（内容）
井爪委員	修正	問 14	経済的なことも設問に入らないか	この設問を追加すると、これに回答される方が多くなることが予想される。その場合、他の福祉ニーズを汲み取りにくくなる恐れがある。また、設問を前回と同じにして経年比較をする上で今回はこのままとしたい。
高氏委員	修正	問 18→問 19	「趣味などの話し相手」は「相談相手になる」のほうがいいのではないか	相談相手も重要な手助けであるため、「趣味などの話し相手」とは別に、「困りごとへの相談相手」を選択肢に追加したい。
平野委員	修正	問 19→問 20	選択肢を「はい」「いいえ」の二者択一にする ※「いいえ」と「わからない」は同じではないか	(ア) (イ) (オ) については「いいえ」と「わからない」が同じ意味になるので、(ア) (イ) (オ) は「わからない」を削除したい。
高氏委員	修正	問 20→問 21	「災害時要援護者」や「支援者」という文言がいきなり出てくるとわかりにくい	「災害時要援護者」と「支援者」の用語解説を追加したい。（「災害時要援護者対策の手引き」から引用する。）
平野委員	修正	問 21→問 17	問 14、16 の設問に近づけて問 17 にするべきではないか	ページをまたがないよう設問を並べ替えたい。（P6 で問 15・16・17 とする。）
井爪委員	修正	問 22－ (2)	「学校ボランティア活動」を追加してはどうか	1つの選択肢として追加すると子どもに関するものが多くなるので、「PTA活動」と合わせて「PTA活動や学校ボランティア活動」としたい。
平野委員	修正	問 23－ (1)	三者択一にするべきではないか	「できるだけ取り組んでいきたい」と「機会があれば、取り組んでよい」は近い内容なので「機会があれば、取り組んでよい」を削除するが、中間的な感覚の方は回答しづらいので、4択としたい。
井爪委員	修正	問 25	⑥福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）についての選択肢に、「利用したことがある」を追加してはどうか	ご指摘どおり追加したい。
平野委員	修正	問 26－ (1) →問 27－ (1)	三者択一にするべきではないか	「入手できている」か「入手できていない」かだと、「少しぐらいは入手できている」という感覚の方は回答しづらいので、このままとしたい。
平野委員	修正	問 29	二者択一にするべきではないか	「充実している」か「充実していない」かだと、中間的な感覚の方は回答しづらいので、このままとしたい。
井爪委員	修正	問 30	選択肢に「子育て支援のための保育所、児童館の充実」を追加してはどうか	ご指摘のとおり子育て支援は重点施策の1つであるため追加したい。

○ 事務局によるその他の追加修正事項

- (1) 1 ページ 題名「小金井市保健福祉総合計画策定（地域福祉計画）のための～」を
→「小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画）策定のための～」と修正しました。
- (2) 1 ページ 発行年月を「平成23年3月」とし、投函期限を「3月25日（金）」としました。
- (3) 10 ページ 問 25⑥「福祉サービス苦情調整委員について」の次に、問 26として「成年後見制度」の設問を移動しました。